#### 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名														
大原簿記学	校	昭和51年10月25日												
設置者名		設立認可年月	日	代表者名		<del>T</del> 101-0065	所在地	所在地						
学校法人大原:	学園	学園 昭和54年4月1日 中本 毎彦 (住所) 東京都千代田区西神田1丁							丁目1番3号					
分野	認	認定課程名 認定学科				03-6261-7717 門士認定年度	高度専門士認定な	年度  職	業実践専門	課程認定年度				
商業実務	商業実	<b>ミ務専門課程</b>		科2年制学科 ジネスコース	平成	7(1995)年度	-			2014)年度				
学科の目的		業実務で必要とされる □識・技能の修得を通				ルなどを修得するとともに	こ、IT業界で必要となる	プログラミンク	ブ、パソコン <i>の</i>	システム構成				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	■取得可能和	な資格 : リテール	<b>レマーケティン</b> グを	検定3級、日商簿記	2級、日商簿記	己3級、MOSスペシャリスト	卜、色彩検定							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要 単位 単位	な総授業時数又 立数	ては総 講	義	演習	実習	実験		実技				
2		単位時間、単位いずれ に記入	1,700 単位	-	0 単位時間	1,200 単位時間 単位	単位時間単位	0 単位		単位時間単位				
生徒総定員	生徒実績	員(A) 留学生	数(生徒実員の内数)		<sup>単位</sup> 引合(B/A)	中退率	半世	単位		半拉				
480 人	34 人		25 人		1 %	11 %								
	■卒業者数	(C) :		14	人									
	■就職希望			12										
	■就職者数 ■地元就職	者数(F)		12 6	<u> </u>									
	■就職率(E)	E/D)	a data (= /=)	100	%									
	■就職者に	占める地元就職者の	D割合 (F/E)	35	%									
	■卒業者に	占める就職者の割合	(E/C)											
就職等の状況	■准学本料	•		94	<u>%</u>									
	■進学者数 ■その他	<u> </u>		1										
	_ ,													
	(令和		ドに関する令和6	年5月1日時点の情	(報)									
	■主な就職													
	(令和5年度卒		s 古 (#) エ じ	≥ → L (##\/		1°	AVT (\$ /115 . H*/H+) //	#*\¬¬ ¬ \ 1	ニハボ					
								株リアーストリ	<b>J</b> エインク					
	デサントジャ	アハン(株)、ロルトン男	<b>以示、(杯)</b> エーL -	ーシー・マート、(株)	<b>伊滕園、㈱物</b>	I語コーポレーション、N	ハストハーソンノ版が、	,- , ,						
					<b>伊滕園、㈱物</b>		ガスとハイランフであい	,.,						
第三者による	■民間の評	・ハン(株)、ロルトン第 価機関等から第三 例えば以下について任	者評価:		伊藤園、株物	がまコーホレーション、N 無		,.						
第三者による 学校評価	■民間の評 ※有の場合、	価機関等から第三 例えば以下について任	者評価:			無		,.						
	■民間の評 ※有の場合、	価機関等から第三	者評価:	受審年月		無 評価	結果を掲載した ムページURL							
	■民間の評 ※有の場合、	価機関等から第三 例えば以下について任	者評価:			無 評価	結果を掲載した							
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、付 評	価機関等から第三 例えば以下について任	者評価: 意記載			無 評価	結果を掲載した							
学校評価 当該学科の	■民間の評 ※有の場合、付 評	価機関等から第三 列えば以下について任 価団体:	者評価: 意記載			無 評価	結果を掲載した							
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、付 評 https://www	価機関等から第三 列えば以下について任 価団体:	者評価: 意記載			無 評価	結果を掲載した							
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 別えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni	者評価: 意記載			無 評価	結果を掲載した	1,700 単位						
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sens 時間による算定) 2授業時数	者評価: 意記載 mon/	受審年月	:	無 評価	結果を掲載した	1,700 単位	拉時間					
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sens 時間による算定) 記授業時数 うち企業等	者評価: 意記載 mon/	受審年月	:	無 評価	結果を掲載した	1,700 単位	立時間					
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 列えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 時間による算定) 授業時数 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実駅 等と連携した実限	受審年月	:	無 評価	結果を掲載した	1,700 单位 60 单位 60 单位	立時間 立時間 立時間					
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 列えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sent 時間による算定)	・ 者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実影 奏楽時数 受業時数	受審年月 受審年月 食・実習・実技の授 習の授業時数	業時数	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位	立時間 立時間 立時間 立時間					
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 列えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sent 時間による算定)	・ 者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実影 奏楽時数 受業時数	受審年月	業時数	無評価本一	結果を掲載した	1,700 单位 60 单位 60 单位	立時間 立時間 立時間 立時間					
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 列えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sent 時間による算定)	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実駅 等と連携した演習 要業時数 うち企業等と過	受審年月 受審年月 食・実習・実技の授 習の授業時数	業時数・実習・実技	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位	文時間 文時間 文時間 文時間 文時間					
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 授業時数 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実駅 等と連携した演習 要業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月 食・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験	業時数 ・実習・実技 の授業時数	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位	之時間 之時間 之時間 之時間 時間 時間					
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 授業時数 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実駅 等と連携した演習 要業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月 像・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験	業時数 ・実習・実技 の授業時数	無評価本一	結果を掲載した	1,700 单位 60 单位 60 单位 1,530 单位 60 单位	之時間 之時間 之時間 之時間 時間 時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 へん、B、の実いずれか	■民間の評 ※有の場合、1 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sens 特間による算定) 過程業時数 うち企業等 うち必修担	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実駅 等と連携した演習 要業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月 像・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験	業時数 ・実習・実技 の授業時数	無評価本一	結果を掲載した	1,700 单位 60 单位 60 单位 1,530 单位 60 单位	之時間 之時間 之時間 之時間 時間 時間					
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携携した と変響等の実施状況	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sens 特間による算定) 過程業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企業 なによる算定)	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実駅 等と連携した演習 要業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月 像・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験	業時数 ・実習・実技 の授業時数	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位	文 3 年 7 日 2 日 年 7 日 2 日 年 7 日 2 日 年 7 日 2 日 年 7 日 2 日 年 7 日 2 日 年 7 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 1 日 2 日 2					
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携機しした況を署等の思いずれんの	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 過授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 対による算定)	者評価: 意記載 mon/	受審年月 ・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験 連携した必修の演習 インターンシップの	・実習・実技 ・実習・実技 の授業時数)	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位	文 3 年 7 日					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携機した況では、A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 過授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 対による算定)	者評価: 意記載 mon/	受審年月 像・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験	・実習・実技 ・実習・実技 の授業時数)	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位	文 3 年 7 日					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 へん、B、の実いずれか	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定)  授業時数 うち企業等 うち必修担  (うち企ま 対による算定)	者評価: 意記載 mon/	受審年月 ・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単	・実習・実技 ・実習・実技 の授業時数)	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位	文 2 5 中					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携機した況では、A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定)  授業時数 うち企業等 うち必修担  (うち企ま 対による算定)	者評価: 意記載 mon/	受審年月 ・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単	・実習・実技 ・実習・実技 の授業時数)	無評価本一	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位	文 20号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携機した況では、A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 過授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 対による算定)	者評価: 意記載 mon/	受審年月 ・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の実験 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単	・実習・実技 の授業時数) 授業時数)	無評価ホー	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携機しした況を署等の思いずれんの	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 過授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 対による算定)	者評価: 意記載 mon/	受審年月 ・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単 質の単位数 連携した必修の実験	・実習・実技 の授業時数) 位数 ・実習・実技	無評価ホー	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携機しした況を署等の思いずれんの	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 3授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定) 3単位数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 mon/	受審年月 歳・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単 質の単位数 連携した必修の実験 連携した必修の実験 連携した必修の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の単位数	無評価ホー	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 3授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定) 3単位数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 mon/	受審年月 ・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単 質の単位数 連携した必修の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の単位数	無評価ホー	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況では、	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位申 《B:単位表	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 3授業時数 うち企業等 うち必修担 (うち企ま 数による算定) 3単位数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 mon/	受審年月 ・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単 質の単位数 連携した必修の実験 連携した必修の実験 連携した必修の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技の授業時数) 位数 ・実習・実技の単位数	無評価ホー	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況では、	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www (A:単位 系	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/senr 時間による算定) 授業時数 うち企業等 うち必修担 はによる算定) はによる算定) さがを担 がしている。 がある。 はいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実験 多変楽時数 うち企業等と連携したれ 等と連携したれ をと連携したな演習 をと連携したな演習 を変楽等と連携したれ を変楽等と連携したれ を変楽等と連携したな演習 を変楽等と連携したな演習 を変楽等と連携したな演習 を変楽等と連携したな変響とは を変楽等と連携したな変響をと連携したれ	受審年月 食・実習・実技の授 習の授業時数 直携した必修の実験 直携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単 の単位数 直携した必修の演習 は関した必修の演習 は関した必修の演習 に対した必修の演習 に対した必修の演習	・実習・実技の授業時数)  位数 ・実習・実技の単位数)	無評価ホー	結果を掲載した	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携機した況では、A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、1 inttps://www (A:単位は (B:単位数	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/send 時間による算定) 3授業時数 うち企業等 うち必修哲 (うち企ま な単位数 うち企業等 うち必修哲 (うち企業等 うち必修哲	者評価: 意記載 mon/ をと連携した実験 うち企業等と辿 うち企業等と連携した々 をと連携した実験 をと連携した大変 をと連携したを実験 うち企業等とと連携したな うち企業等とと選	受審年月 食・実習・実技の授 習の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 食・実習・実技の単 食が を選び を関した必修の演習 は関した必修の演習 は関した必修の演習 は関した必修の演習 インターンシップの 食、学校等において 後、学校等において	・実習・実技の授業時数 ・実習・実技の授業時数) ・変習・実技の単位数 単位数)	無評価ホーの授業時数	結果を掲載したムページURL	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www (A:単位 名 ・ 単位 系	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/sent 時間による算定) うち企業等 うち企企業等 うち企業等 な(うち企業 単位数 うち企業等 うち必修封 でうち企業等 うち必修封 でうち企業等 うちを必修封	書音評価: 意記載 mon/ 春と連携した実覧 ラち企業等と選携したっ をと連携した実覧 ラち企業等と選携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技の受験を表現である。 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技の単位数	無評価ホー	結果を掲載したムページURL	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、イ 評 https://www (A:単位 名 ・ 単位 系	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/seni 特間による算定) 3授業時数 うち企業等 うち必修抄 (うち企ま はによる算定) (うち企ま でするながでする。 でするなのである。 ののでは、 の	書音評価: 意記載 mon/ 春と連携した実覧 ラち企業等と選携したっ をと連携した実覧 ラち企業等と選携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ をと連携したっ	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技の受験を表現である。 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技の単位数 ・実習・実技の単位数	無評価ホーの授業時数	結果を掲載したムページURL	1,700 単位 60 単位 1,530 単位 60 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携しした況 (A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、1 https://www (A:単位年 (B:単位 系	価機関等から第三 例えば以下について任 M.o-hara.ac.jp/seni ( ) 方を企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを必修打 ははな うちを必修打 ははな うちを必修打 できるのである。 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当	者評価: 者記載  mon/	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	業時数 ・実習・実技の授業時数) ・位数 ・変単位数) ・変単位数)	無 評価 ボー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL	1.700 単位 60 単位 1.530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号作用 22号作用 22号作用 22号件用 22号					
学校評価 当該学科のボームのでは、 出該学科のジーのでは、 はいます。 はいます。 と業等等ののでは、 にいます。 にいまする。 にいま	■民間の評 ※有の場合、1 ※有の場合、1 ※有の場合、1 (A:単位は 新 (B:単位数 (8) (8)	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/send 時間による算定) 3授業時数 うち企業等 うち必修社 (うち企ま なばし数 うち企業等 うち必修性 (うち企ま での担当する般と当 での担当する像と当 でのりととなる者 でのりととなる者	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実験 うち企業等と選 うち企業等とと連携した々 うち企業等とと連携したた演習 うち企業等とと連携したで表 うち企業等とと連携したで表 うち企業等とと連携したで表 うち企業等とと連携したでま うちを企業をときる。	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	業時数 ・実習・実技の授業時数) ・位数 ・実習・実技の単位数 ・実習・数 ・実務・数 ・変形・数 ・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・	無 評価 ボーー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 31号)	1.700 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科のジルの LRL 当該学科のジルの LRL を業等ののいずれかに記入)	■民間の評 ※有の場合、1 ※有の場合、1 ※有の場合、1 (A:単位は 新 (B:単位数 (8) (8)	価機関等から第三 例えば以下について任 M.o-hara.ac.jp/seni ( ) 方を企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを必修打 ははな うちを必修打 ははな うちを必修打 できるのである。 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当 でもののであると当	者評価: 意記載 mon/ 等と連携した実験 うち企業等と選 うち企業等とと連携した々 うち企業等とと連携したた演習 うち企業等とと連携したで表 うち企業等とと連携したで表 うち企業等とと連携したで表 うち企業等とと連携したでま うちを企業をときる。	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	業時数 ・実習・実技の授業時数) ・位数 ・実習・実技の単位数 ・実習・数 ・実務・数 ・変形・数 ・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・変形・	無 評価 ボー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 31号)	1.700 単位 60 単位 1.530 単位 60 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科ージ URL と実等ののいた況かに記入)	■民間の評 ※有の場合、イ ド Https://www (A:単位 (B:単位 名	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.o-hara.ac.jp/send 時間による算定) 3授業時数 うち企業等 うち必修社 (うち企ま なばし数 うち企業等 うち必修性 (うち企ま での担当する般と当 での担当する像と当 でのりととなる者 でのりととなる者	者評価: 意記載 mon/ をと連携した実験 うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したた実験 うち企業等とと連携したたま をと連携したたま うち企業等とと連携したが うち企業等とと連携したが するを企業をとと連携したが うちを企業等とと連携したが するを企業をとをしませた。	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技授業時数) ・位数 ・実習・実技の単位数 ・単位数 ・「専修学・「・「・	無 評価 ボーー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 31号) 52号) 53号)	1.700 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携機しした況を署等の思いずれんの	■民間の評 ※有の場合、イ https://www (A:単位 (B:単位 系	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: ************************************	者評価: 意記載 mon/ をと連携した実験 うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したた実験 うち企業等とと連携したたま をと連携したたま うち企業等とと連携したが うち企業等とと連携したが するを企業をとと連携したが うちを企業等とと連携したが するを企業をとをしませた。	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技授業時数) ・ 実習・実技 (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ )	無 評価 ボーー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	1.700 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科ージ URL と実等ののいた況かに記入)	■民間の評 ※有の場合、1 ※有の場合、1 ※ (A:単位 (B:単位 (8 8 (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C)	(	者評価: 意記載 mon/ をと連携した実験 うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したた実験 うち企業等とと連携したたま をと連携したたま うち企業等とと連携したが うち企業等とと連携したが するを企業をとと連携したが うちを企業等とと連携したが するを企業をとをしませた。	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技授業時数) ・ 実習・実技 (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ )	無 評価 ボーー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	1.700 単位60 単位60 単位60 単位60 単位位単位位単位位単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科のホームの は URL と業等等のに記入) と実際等のに記入) な負責の属性(で記) な負責のの属性ので記	■民間の評 ※有の場合、1 ※有の場合、1 ※ (A:単位 (B:単位 (8 8 (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C)	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: ************************************	者評価: 意記載 mon/ をと連携した実験 うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したた実験 うち企業等とと連携したたま をと連携したたま うち企業等とと連携したが うち企業等とと連携したが するを企業をとと連携したが うちを企業等とと連携したが するを企業をとをしませた。	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技授業時数) ・ 実習・実技 (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ )	無 評価 ボーー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	1.700 単位60 単位60 単位60 単位60 単位60 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科のホームの は URL と業等等のに記入) と実際等のに記入) な負責の属性(で記) な負責のの属性ので記	■民間の評 ※有の場合、1 ※有の場合、1 ※ (A:単位 (B:単位 (8 8 (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C)	(	者評価: 意記載 mon/ をと連携した実験 うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したか うち企業等とと連携したた実験 うち企業等とと連携したたま をと連携したたま うち企業等とと連携したが うち企業等とと連携したが するを企業をとと連携したが うちを企業等とと連携したが するを企業をとをしませた。	受審年月 後・実習・実技の授 響の授業時数 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後・実習・実技の単 連携した必修の演習 インターンシップの 後の実験	・実習・実技の授業時数) ・実習・実技授業時数) ・ 実習・実技 (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ (専修学・ )	無 評価 ボーー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	1.700 単位60 単位60 単位60 単位60 単位位単位位単位位単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携施状かいた況(A、に記入)	■民間の評 ※有の場合、評 https://www (A:単位 (B:単位 (名 名 4	(	書名評価: 書書記載  mon/  等と連携した実際 うち企業等とと うち企連携した大実験 うち企業等した をと連携した実験 うち企業等した をと連携したた実験 うち企連携したた実験 うち企連携したた実験 をと連携したた実験 をと連携したたました。 まで表験した。 まで表験に従来。 まで表験には、 まで表験には	受審年月 食・実習・実技の授 業の授業時数 直携した必修の実験 直携した必修の演習 インターンシップの 食・実習位数 直携した必必ので演習 食・実習が 食・実習が をの実験である。 は、した必必のでである。 は、した必必のでは、 は、した必必のでは、 は、した必必のでは、 は、した必必のでは、 は、した必必のでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、したのでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	・実習・実技の を実習・実技の を表する。 をまずる。 をする。 をするをもな。 をする。 をするをもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもな。 をもな。 をもなる。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。	無 評価ホーー  の授業時数  の授業時数  の単位数  校設置基準第41条第1項第  校設置基準第41条第1項第  校設置基準第41条第1項第  校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	1.700 単位位 位位 位位 位位 位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	文 20号符号 22号符号 22号					
学校評価 当該学科ージ URL と実等ののいた況かに記入)	■民間の評 ※有の場合、付 ※有の場合、付 ※ (A:単位位 (B:単位 (B:単位 (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C)	(	書名評価: 書名評価: 春と連携した実験 うち企業携したな うち企業等等とと連携したたまます。 うち企業等とと連携したたままままままままままままままままままままままままままままままままままま	受審年月 食・実習・実技の授 業者の授業時数 連携した必必修のの演習の は、したシップのの 食者の単単様した必必ップのの 食者の単単様した必必が多いでは、 実質である。 は、したが、 は、これが、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	・実習・実技の を実習・実技の を表する。 をまずる。 をする。 をするをもな。 をする。 をするをもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもなる。 をもな。 をもな。 をもなる。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。 をもな。	無 評価 ボーー の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	結果を掲載した ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	1.700 単位60 単位60 単位60 単位60 単位位単位位単位位単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単	文 20号符号 22号符号 22号					

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である一般事業会社(経理事務職、販売職)、医療機関の医事課と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②商業実務分野における学修の中心となる会計知識、計数能力、マーケティング知識、情報パソコンスキルは勿論のこと、より高度な会計知識である、財務開示、財務分析などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議 策定するための機関として位置づける。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、就職本部長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月20日現在

名 前	所 属	任期	種別
青柳 六郎太	一般財団法人 ICT経営パートナーズ協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
城山 将臣	一般財団法人 全国スーパーマーケット協会	令和5年10月1日~令和7年9 月30日(2年)	1
小松 亮一	太陽有限責任監査法人	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
岡本 正義	岡本正義税理士事務所	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
田口 操	税理士法人 田口パートナーズ会計	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
藤井 俊之	株式会社 オデッセイコミュニケーションズ	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
羽深 義輝	学校法人 大原学園 大原簿記学校	_	_
裴 春彦	学校法人 大原学園 大原簿記学校	_	_
岩崎 聡	学校法人 大原学園 大原簿記学校	_	_
田村 綾	学校法人 大原学園 大原簿記学校	_	_
石川 達也	学校法人 大原学園 大原簿記学校	_	_
安田 祐也	学校法人 大原学園 大原簿記学校		_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
    - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)
- 年2回 (8月、12月)
- (開催日時(実績))

令和6年度第1回:令和6年8月24日(土) 14時30分~16時20分 令和6年度第2回:令和6年12月18日(水) 16時00分~17時30分 令和7年度第1回:令和7年8月23日(土) 14時30分~16時20分

#### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

実務的な観点から、どの業界においてもICTの活用は切っても切れない状況になっており、グループウェアの活用やchatGPTの普及により仕事の進め方が大きく変わってきた。そのような時代の中で、少しでもICTに触れてチャレンジする機会があったほうが良い。

その一方で、コミュニケーション力を育むことも大切である。コロナ禍で、団体行動やイベントなどがなかった世代の学生ということもあり、コミュニティを育めなかった。行動制限も緩和されており、各種イベントやグループワークを通じて人と接する場面を増やすことで、学生の主体性にもつなげていく。

会計系の業務においては、インボイス制度の導入により、消費税の知識を身につけるために社会人講座への申込みや各種講演会の参加が増えている。実務では申告書の作成よりも、入口となるインボイス制度に対する理解が必要になってくるため、簿記会計の授業で教えていくことも大切である。今回、検討課題に挙がった事項を踏まえて、次年度の教育に繋げていく。

#### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①商業実務分野における実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- マーケティング概論研究、経理実務の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連携している。
- ① 実習授業内容構築へのサポート
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
流通キャリアデザイン Ⅱ		実務経験、有識者の指導を基により実践的な小売業に関する知識を 学ぶ。	
マーケティング概論		マーケティングの必要性と目的を学習し、実習形式で学習する。学習内容を企業に評価してもらう。	イオンリテール株式会社

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

# (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の 知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、教職員が専 攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意志により、公平 に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は下記のとおり。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発
- ④各自治体等が実施する指導者向けセミナーへの参加

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 経理に関する研修 連携企業等: 山口一雄税理士事務所

期間: 令和6年12月6日(金)14:00~17:00 対象: 経理コース担当者

税法改正、制度会計の改正内容を実務での影響について、また、業務を携わる上で社員が理解・実践が 内容

できなければならない実務処理に関する説明を頂いた。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 令和6年度重要·経営課題研修 ICT活用力向上 連携企業等:公益財団法人東京都私学財団

当校の教職員から代 期間: 令和6年8月14日(水)14:00~16:30 対象:

表1名 これからの授業づくり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 内容

令和6年度人権教育研修 連携企業等: 公益財団法人東京都私学財団 研修名:

令和6年9月4日(水)14:00~16:00 対象: 学科に所属する教員 期間:

人権に配慮した適切な対応を学び、人権問題について正しい理解と認識を深める 内容

研修名: アカデミックハラスメント講演会 連携企業等: 弁護士法人藤木新生法律事務所

令和6年3月26日(火)16:00~17:30 対象: 教職員全員 期間:

内容 ハラスメントに対して正しい知識を持ち、意識を高めることでハラスメントの防止に努める

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 山口一雄税理士事務所 研修名: 経理に関する研修

期間: 対象: 経理コース担当者 令和7年12月5日(金)14:00~17:00予定

税法改正、制度会計の改正についての知識向上。また、技術革新が進むなか、経理事務職として求めら 内容

れる人間像や求められるスキルを説明していただき、実務上の知見を広める。

連携企業等: 公益財団法人東京都私学財団 コな校

当校の教職員から代 令和7年9月12日(金)14:00~17:00 期間: 対象:

表1名

クレーム対応の一次対応・二次対応における基本的な考え方や対応方法 内容

カウンセリング研修会 連携企業等: 東京都専修学校各種学校協会 研修名:

対象: 表1名 当校の教職貝から代 期間: 令和7年8月4日(月)13:30~16:30

発達障害・グレーゾーンの学生が増加する中で教員が活用できるカウンセリング技術 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 (1)教育理念•目標 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。 ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 (2)学校運営 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされている か。 (3)教育活動 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施さ れているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保し ているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。 ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら れているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 (4)学修成果 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 (5)学生支援 5課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 7保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて いるか。 (6)教育環境 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制 を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 (7)学生の受入れ募集 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。

(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	_

### ※(10)及び(11)については任意記載。

# (3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会において、教育成果および、卒業生の就職先に対する貢献度について評価していただいた。社会の変化に応じた柔軟な教育の提供に対してご意見を頂戴し、教材のデジタル化やオンラインを活用した授業など、ICTを活 用し、変化する時代に合わせた教育内容を研究して提供していく。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
小松 亮一		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委 員
角田 光正		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	地域住民
須藤 勉		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	高等学校 関係
岡本 正義		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

## (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: 公表時期: URL:https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

令和7年10月6日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

関するカイトライン」の項目との対応
学校が設定する項目
①学校の概要 ②目標·方針·特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革
①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路
各学科の担当教員紹介
各学科の実習紹介
①学校行事 ②クラブ活動
学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介
学園の財務状況公開
学校関係者評価結果

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(

))

URL: URL:https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

# 授業科目等の概要

				医専門課程 経理				1::: 44: 4- 14								
		分類							授	業プ		場所		教員		
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
											技					
1	0			簿記入門 I	株式会社における複式簿記の基本原理を学 ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
2		0			基本的な財務報告書類の作成方法・株式会 社会計の基礎を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
3		0		2級工業簿記 基礎 I	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	1 前	60	3	0			0		0		
4		0		2級簿記総合 I	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学び、本支店会計、連結会計、原 価計算の基礎も学ぶ		120	3		0		0		0		
5		0			株式会社における複式簿記の基本原理、簿 記の基本原理を学ぶ	1通	90	3	0			0		0		
6		0		3級簿記総合	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題 演習を通じて学ぶ	1 通	120	4		0		0		0		
7	0			2級商業簿記 応用 I	商企業の会計処理に関する全体の関連性に ついて体系的に学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
8	0				工業簿記および原価計算の関係および会計 処理を詳しく学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
9	0			2級簿記総合 II	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	1 後	90	3		0		0		0		
10	0			ビジネス教養 I	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う。	1 通	30	1		0		0		0		
11	0			一般教養 I	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ。	1 通	30	1	0	Δ		0		0		
12	0			Power Point 基礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作 を理解する	1 後	30	1	0	Δ		0		0		

_				T		1	1					_	
13	0		ITリテラシ	ネットワーク、セキュリティの知識とコン ピュータの基本操作を学ぶ	1 後	90	1	0	Δ	0	0		
14	0		キャリアデザ イン I	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	1 通	30	1	Δ	0	0	0		
15	0		キャリアデザ インⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習	1 後	30	1	Δ	0	0	0		
16	0		キャリアデザ インⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を 身につける為の学習	1 後	30	1	0	Δ	0	0		
17	0		時事	現代社会における主要な時事の基本用語を 理解し、自分の考えや意見を持つための学 習		30	1	0		0	0		
18	0		Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する	1 通	60	2	Δ	0	0	0		
19	0		2級商業簿記 基礎Ⅱ	試算表、精算表、財務報告書など他の会計 書類の関連性について体系的に学び、財務 報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	1 前	90	3	0		0	0		
20	0		2級工業簿記 基礎Ⅱ	工業簿記および原価計算の関係および会計 処理を学ぶ	1 前	90	3	0		0	0		
21	0		2級簿記総合 Ⅲ	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題 の演習を通じて学ぶ	1 後	90	3		0	0	0		
22	0		FP基礎	日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につける	2 通	120	4	0		0	0		
23	0		FP応用	日常生活に関わる様々なお金の知識を定着させる	2 通	60	2		0	0	0		
24	0		FP総合	「お金」に関する総合的な知識を深め、経 済社会との関係性を理解する	2 通	90	1	0		0	0		
25	0		一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語な ど国語分野に関する知識まで身につける	2 通	30	1		0	0	0		
26	0		Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解 する	2 前	30	2	0		0	0		
27	0		コミュニケー ション概論	グループワークの形式、役割、手法につい て学ぶ	2 前	30	1		0	0	0		

28	0			パソコン実習 I	Word、Excelを操作するための基礎的な知識 を身につける実習	2 前	30	1		0		0	0	
29	0			パソコン実習 Ⅱ	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	2 後	30	1			0	0	0	
30	0				Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	2	30	1			0	0	0	
31	0			ビジネス教養 Ⅱ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養 う	2 通	30	1		0		0	0	
32	0			ビジネスマ ナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2 通	60	2	0	Δ		0	0	
33	0			英会話入門	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに 学習する	2 前	30	1		0		0	0	
34		0		ITパスポート 基礎	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専 門用語を理解する	2	90	3	0	Δ		0	0	
35		0		IT パス ポート・リテラシ 演習	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問 題演習を通じて学ぶ	2 後	30	1		0		0	0	
36		0			情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問 題演習を通じて学ぶ	2 後	60	1	0	Δ		0	0	
37		0		販売知識基礎	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、 マネジメントの知識を理解する	2 後	90	3	0			0	0	
38		0		販売知識応用	小売業について体系的に学び、実務的なビ ジネスの知識を理解する	2 後	90	3	0	Δ		0	0	
39	0			卒業前特別講 座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2	30	1	0			0	0	
40	0			マーケティン グ概論	マーケティングの必要性と目的を学習し、 実習形式で学習する。学習内容を企業に評価してもらう。	2 前	60	2	Δ		0	0	0	0
41	0			卒業研究・発 表	実店舗を題材にして、課題に対する改善案 を提案し発表する	2 後	60	2		0		0	0	0
			合	Ħ ====================================	46	杉	目				2520	単位	立(単位	<b>拉時間</b> )

卒業要件及び履修方法	授業期間等
	32221277311.3

卒業要件	(修了・卒業の認定) 1. 授業科目の成績評価に基づいて、卒業審査により課程修了の認定を行う。校長は、本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 (1) 経理本科2年制学科 1,700時間 (2) 経理本科4年制学科 3,400時間 2. 前頃に規定する卒業の認定は、最終学年の終わりに行う。 (進 級) 1. 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修および単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法	(試験等) 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。2. 本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。(学業成績) 1. 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。	1 学期の授業期間	22 週

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。